

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 042	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 洋ランの高品質省エネルギー生産技術	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 ファレノプシス栽培施設では管理設定温度が通年 25℃前後を必要とするため、長時間密閉し冷暖房による室温管理を行っている。そのため、エネルギー使用量は他品目に比べ格段に多い。環境負荷軽減対策はもちろんのことながら、更に燃油価格が高騰、電力事情がひっ迫する中で、エネルギー使用量を軽減しつつ高品質な生産を行う必要がある。開花生理等を踏まえエネルギー使用量を軽減する栽培技術の研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ファレノプシス栽培での省エネ技術としては、山梨県や愛知県の実績でEOD-heating、LED照射、細霧冷房、間欠冷房、局所冷暖房等がこれまでに考案、開発されていますので、ご活用ください。 なお、LED照射については、県内の数戸で導入されています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	・LED単波長光照射がコショウランの開花に及ぼす影響（2015年山梨県総合理工学研究機構研究報告書） ・厳冬期における日没後の短時間昇温が小型コショウラン‘なごり雪’（Pharaenopsis）の生育及び開花に及ぼす影響（2016年山梨県総合農業技術センター研究報告） ・コショウランの低コスト花茎発生のための局所冷房装置の開発（2016-2018年新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業〔愛知農業総合試験場〕） ・間欠冷房処理によるコショウランの花茎発生及び開花（2013園芸学研究 第12巻別冊1〔愛知県農業総合試験場〕）		